

会員の皆様へ：年会費納入の情報：郵便封筒の宛名下の数字参照。2018は2018年度まで納入済み。

しのばず自然観察会より 2018-12 2018.12.09

2018年12月の活動 その3 不忍池水鳥個体数調査

と き：12月23日(日)雨天実施
集 合：午前9時不忍池弁天堂南側藤棚広場
交 通：千代田線湯島駅根津寄り改札口または京成上野駅より徒歩約5～10分
持ち物：筆記用具、双眼鏡、弁当、飲み物、雨具、敷物、双眼鏡
参加費：調査なので無料
上野動物園入園料は会で負担します（65歳以上は割引あり、要証明）
分担を決めて、9時30分から一斉調査を始めるので遅刻しないように！
終了後、谷中の作業所で1月の公開観察会の分担・準備をします。

2019年1月の活動 上野公園・不忍池野外観察会

と き：1月13日(日)雨天実施
集 合：会員は午前9時 JR上野駅公園口前（緑の小旗が目印です）
乗り物：京成、地下鉄の上野からも徒歩5分前後です。
持ち物：筆記用具、弁当、飲み物、雨具、敷物、帽子、あれば双眼鏡
参加費：300円
終了後、谷中の作業所で通信の発送や懇談をします。

2018年11月の活動 生田緑地散策より

11月4日(日)は雨が降りそうで降らない空模様の中、8名が参加しました。古代人の横穴式墓群から30分余かけてゆっくり登り、柎形山展望塔へ。途中は秋と冬枯れが交錯するような気配でした。谷間へ降りるコースの途中、もみじの紅葉がきれいなところがありました。以前来たときは、日差しに映えて見事な色彩を放っていました。今回はどんより曇った中でしたが、皆をうならせるほどに渋みがある色を見せていました。また、足元にはシダ植物のオオハナワラビが。この植物は光合成をする栄養葉とは別に、孢子嚢群だけをつける孢子葉を冬の季節に出します。

昼近くなってとうとう雨が降り出し、尾根まで登って幸い無人の東屋に避難して昼食、ここで通信の封筒づめ作業もできました。斜面に造られた岡本太郎記念館のまわりを下り、全体は解散、有志で生田緑地附属バラ園に向かいました。ここは向ヶ丘遊園地が閉鎖された時、遊園地のバラ園を川崎市が譲り受け生田緑地の飛び地とした所で、春と秋の開放期間以外は接続歩道ごと閉鎖されていて、11月4日が秋の開園最終日に当たっていました。



コース入り口付近のカラスウリの実



横穴墓



オオハナワラビの栄養葉



オオハナワラビの孢子葉

秋のバラは花が長持ちするので、この日で閉園はもったいないのですが、管理上やむを得ないのでしょうか。時代を感じさせる数々の品種が咲き誇っていました。高校生時代に育てた品種に再開できて、とてもなつかしい気持ちになりました。(小川 (K))

予告 第14回『上野しのばず学習会』

テーマ：上野公園の歴史(8)：地図から読む公園内配置の変遷

と き： 2月2日(土) 午後2時 - 4時 場所：谷中の家

いつもは奇数月末の土曜日に行う学習会ですが、会場の都合で1週間遅れになります。予定に入れて置いてください。詳細は次号の通信でお知らせします。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川 潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

会員の皆様へ：年会費納入の情報：郵便封筒の宛名下の数字参照。2018は2018年度まで納入済み。

2019年 新春恒例

上野公園・不忍池野外観察会のご案内

東京の都心に残る緑地、上野公園。ここには自然の生き物や、歴史・文化遺産と快い空間が残っていて、私たちに安らぎや感動を与えてくれます。

しのばず自然観察会が主催する新春恒例の上野公園・不忍池野外観察会は、2019年1月に44回目を迎えます。旧水路跡と水鳥をめぐる小さな旅で、都心の自然と歴史を確かめる一日にしましょう。

と き：2019年1月13日（日） 雨天実施

集 合：午前9時30分（会員は9時）、JR上野駅公園口前（緑の小旗が目印し）

持ち物：筆記用具、弁当、飲み物、敷物、雨具、あれば双眼鏡など

参加費：300円

解 散：午後2時半ころ、不忍池にて

注 意：水辺を渡る風は冷たいので、防寒は十分に！

例年のように、江戸時代の水路の上流（噴水やボードワン像がある一帯）から旧奏楽堂前、現存する旧水路跡を経て、上野東照宮脇から不忍池へ降りていきます。地形やタブの木の観察もできます。

不忍池では、おもに水鳥の観察をします。参加者にはしのばず観察会オリジナル「不忍池の水鳥ミニガイド」を配布します。

鳥の足を比べてみましょう 鳥との距離が近い
不忍池ではこんな観察もできるでしょう。



それぞれ誰の足でしょうか？



答えは不忍池の観察会で確かめてね。

しのばず自然観察会創立 30 周年記念出版「新版上野のお山を読む—上野の杜事典」（谷根千工房刊）があると便利です。

問い合わせは、しのばず自然観察会（電話：03-3828-8775 小川）まで。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川 方

1975年創立 電話 03-3828-8775 URL : <http://sinobazu.extrem.ne.jp>

郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

